

## 次代を担う学生に商船学科を紹介 ～2016年度国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンス～

日本船主協会では、2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を行っている。

その一環として、海技者という進路を若い世代にも意識してもらおうべく、広島（6月18日・ワークピア広島）、横浜（7月18日・ナビオス横浜）、神戸（7月23日・（独）海技教育機構 銀河丸）の3会場において国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンスを開催。

この取り組みは商船学科のある高等専門学校（以下商船系高専）5校と協力し（富山高専、鳥羽商船、大島商船、広島商船、弓削商船）2008年から開催しており、今回で9回目を迎えた。

各会場では、冒頭に当協会 田中俊弘常務理事が挨拶し、日常生活に占める海運の重要性や日本人船員の重要性について説明したほか、昨年から行っている「海の日」関連の見学会に関しても触れた。

商船系高専の先生からは、学校生活の様子や卒業後の進路、最短で3級海技士の受験資格を得ることができるという特長などの説明があった。

卒業後の進路紹介として、商船系高専卒業生が多く活躍している長距離フェリー業界を代表し、日本カーフェリー労務協会の長田栄弘氏より業界説明があった後、当協会会員会社の若手航海士・機関士が、商船系高専の志望理由、学校生活や仕事の内容等について写真と共に紹介。講演後は各校ごとのブースが設けられ、先生や学生、OB・OGと参加者が熱心に情報交換を行った。

広島会場では地元のテレビ局が取材に訪れ、この取り組みについての説明と共にガイダンスの様子が夕方のニュースで放送された。

横浜会場では、開始前、事前に申し込んだ希望者を対象に日本丸メモリアルパークで登艦礼（とうしょうれい）と総帆展帆の解説付き見学会を実施。帆船日本丸 横浜みなと博物館の常務理事で帆船日本丸船長の飯田敏夫様にお話しをいただくなど、うれしい偶然もあった。

また、神戸会場では、銀河丸 南屋船長・高村機関長をはじめとした海技教育機構職員各位のご協力の下、船内見学を実施。参加者は練習船に興味津々の様子であった。

人材確保タスクフォースでは、今後も商船系高専を初めとした海事系教育機関や海運業界の認知度向上および海事人材確保の一助となるよう、関係団体と協力し幅広い活動を継続していく。

### 各会場参加者（計177名）内訳

広島会場：70名（中学生33名 保護者36名 教師等1名）

横浜会場：39名（中学生17名 保護者22名）

神戸会場：68名（中学生27名 保護者34名 教師等7名）

### 商船系高専 全体説明担当

広島会場：国立広島商船高等専門学校 武山哲先生

横浜会場：国立鳥羽商船高等専門学校 伊藤友仁先生

神戸会場：国立弓削商船高等専門学校 村上知弘先生

### 高専卒業生の皆さん（順不同）

広島会場：

㈱商船三井 上井博明 一等機関士

川崎汽船㈱ 富高真奈美 二等航海士

横浜会場：

NS ヲイテッド 内航海運㈱ 中村英毅 一等機関士

JX オーシャン㈱ 村上寿明 二等航海士

神戸会場：

NS ヲイテッド 海運㈱ 川北峻平 二等航海士

日本郵船㈱ 沢田耀一郎 三等機関士



6月18日 広島会場の様子



広島会場 各校ブースの様子



7月18日 横浜会場の様子



横浜会場 各校ブースの様子



7月23日 神戸会場の様子



神戸会場 各校ブースの様子



横浜会場 総帆展帆記念写真